



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 聖路加国際病院 神経血管内治療科 新見 康成

【研究責任者】

聖路加国際病院 神経血管内治療科 新見 康成

【研究代表者】

大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科学 中村 元

当院で顆管静脈系の硬膜動静脈瘻と診断され 入院した方を対象とした治療結果に関する研究

1.研究の対象

2013年1月1日から2022年3月31日の間に、当院で脳血管撮影検査を行い、顆管静脈系の硬膜動静脈瘻と診断され入院した方のうち、検査実施時点の年齢が20歳以上80歳未満の方

※血管とともに、骨組織の断層データも3次元回転画像にて得られた方のみを対象といたします。

2.研究の目的・方法

大後頭孔は脳が脊髄に移行する際に通過する頭蓋骨の穴ですが、この部分には、動脈と静脈の吻合する動静脈瘻が発生しやすいことが知られています。ただし、その動静脈瘻の構造は様々で、現在ではこの疾患に対する少数の報告例があるのみで、分類や治療法も確立していません。他施設から多くの症例を集めて分析することによりこの疾患の全体像を把握し、治療法の確立をめざします。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2023年12月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

《情報》 年齢、性別、診断名、CT、MRI、DSA画像検査結果、外科的加療内容と結果、血管内治療内容と結果、既往歴、投薬内容、予後情報 等

《試料》 なし

4.外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態でパスワードロックをかけた上で、電子送信にて行います。データと研究の対象の方との対応させた表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5.研究組織

(研究代表者)

大阪大学 研究責任者氏名：中村 元(脳神経外科・講師)

(情報の提供を行う機関)

岡山大学病院 研究責任者氏名：平松匡文(脳神経外科・助教)

久留米大学 研究責任者氏名：田上秀一（放射線科・准教授）
大分大学 研究責任者氏名：徳山耕平（放射線科・助教）
筑波大学 研究責任者氏名：松丸祐司（脳神経外科脳卒中予防治療学講座・教授）
東海大学 研究責任者氏名：Kittipong Srivatanakul（脳神経外科・講師）
慶応大学 研究責任者氏名：水谷克洋（脳神経外科・助教）
熊本大学 研究責任者氏名：清末一路（画像動態応用医学共同研究講座・教授）
富山大学 研究責任者氏名：秋岡直樹（脳神経外科・准教授）
藤田医科大学 研究責任者氏名：中原一郎（脳神経外科・教授）
京都大学 研究責任者氏名：石井 暁（脳神経外科特定・准教授）
広南病院 研究責任者氏名：松本康史（血管内脳神経外科・部長）
虎の門病院 研究責任者氏名：鶴田和太郎（脳神経血管内治療科・部長）
昭和大学藤が丘病院 研究責任者氏名：津本智之（脳神経外科・教授）
聖路加国際病院 研究責任者氏名：新見康成（神経血管内治療科・部長）

以上